

「乳幼児家庭の教育力向上事業」概要

■ 目的 ★子どもの「未来に向かう力（非認知能力）」の育成に向け、その土台形成となる乳幼児家庭の教育力の向上を図る

■ 事業概要 ★教育庁が、福祉部・健康医療部等の関係部局と連携して3か年計画で事業を推進する

☞令和元年度………大阪府が、「未来に向かう力（非認知能力）」に関わる啓発資料の作成や、人材養成のための研修を行う

☞令和2年度～3年度……市町村が、府開発のプログラムを活用した取組みを実施する（令和3年度末）市町村での取組み内容（成果）を府域全体へ普及啓発する

※未来に向かう力（非認知能力）：目標に向かってがんばる力や、気持ちをコントロールする力、人と関わる力など、自分やまわりの人たちと折り合いをつける力

令和元年度

人材の養成（「養成講座」の実施）

市町村で、子どもの「未来に向かう力（非認知能力）」に関する講座、研修等を実施する人材を養成

■ 対象

- ① 親学習リーダーを指導する家庭教育支援S V
- ② 幼児教育A D等、保護者支援に関わる人材* に対する指導的立場の人材

☆保護者支援に関わる人材：幼稚園・保育所等の教職員・保健師・民生児童委員・司書等

■ 内容

「基本編」：「未来に向かう力（非認知能力）」に関する基本的な内容について学ぶ

「実践編」：親学習講座や職員向け研修の進め方、保護者への啓発方法等について学ぶ

■ 講師 学識経験者等

啓発資料の作成

子どもの「未来に向かう力（非認知能力）」育成のポイントを記したリーフレット『乳幼児期に育みたい！未来に向かう力』と、ワークショップ（講座）で使用する親学習教材『がまんする』『自信をもつ』『かかわる』を作成

令和2年度～令和3年度

★委託による市町村での取組み（2か所）

保護者向けの取組み

<子育てへの保護者の関心と支援の方法>

高い
↑
子育てへの関心
↓
低い

- ・子育て講演会
- ・親学習
- ・子育て講座
- ・読み聞かせ会、子育てひろば
- ・幼稚園・保育所等の保護者会
- ・乳幼児健診・養育訪問
- ・地域人材による訪問支援

多様な保護者が、子どもの「未来に向かう力（非認知能力）」の大切さを学び、意識を高めることのできる家庭教育支援の取組み

保護者支援に関わる人材向けの研修

「未来に向かう力（非認知能力）」の育成や、子育て家庭の支援に関する研修

■ 対象

- ・幼稚園、保育所等の教職員
- ・保健師、子育て相談関係者
- ・司書
- ・家庭訪問を行う家庭教育支援員
- ・民生児童委員 等

モデル実施で得た、効果的に保護者へ伝えるためのノウハウを蓄積

モデル実施による効果的な支援方法の確立

- ◎ 上記支援方法を組み合わせて、多様な場での保護者支援を実施
- ◎ 市町村において上記の取組みを担う人材を増やす取組みを実施

効果
・様々な状況の保護者へ支援を届けることができる
・保護者が子どもの未来に向かう力（非認知能力）の大事さに触れる機会が増える

成果
◎ 様々な場面での支援方法の事例、保護者の意識を高める効果的な支援方法の事例を蓄積することができる
◎ 市町村において、次年度以降の主体的な実施のきっかけとなる

★大阪府による取組み

市町村と連携した取組み（4か所）

講演会等を市町村と共同して実施することにより、R4以降の市町村での主体的な実施を促す

【大阪府】経費（講師謝金、会場費）、運営等に関する市町村への指導・助言
【市町村】会場の確保、周知（参加者の募集）

取組みの普及啓発

養成人材のフォローアップ研修、市町村情報交流会
新聞やホームページ、イベント等の活用や企業との連携による保護者への普及啓発（R2シンポジウム、R3実践報告会）

推進会議

市町村の取組みに対する指導助言

手引書の作成

子どもの未来に向かう力（非認知能力）育成に向けた効果的な「家庭教育支援・子育て支援のための手引書」の作成【R3年度末完成予定】
・支援が有効な場や時期、方法
・要点を適切に伝えるためのシナリオ 等

手引書の提供【令和3年度末】

今後は、市町村が手引書を参考に、実情や課題に応じた適切な機会において、子どもの未来に向かう力（非認知能力）育成に向けた、家庭の教育力向上に資する取組みを実施